

独立行政法人  
地域医療機能推進機構 (JCHO) 熊本総合病院だより

# ぱとす



第45号  
2024年  
夏号

Volume 12 Number 3 July 2024

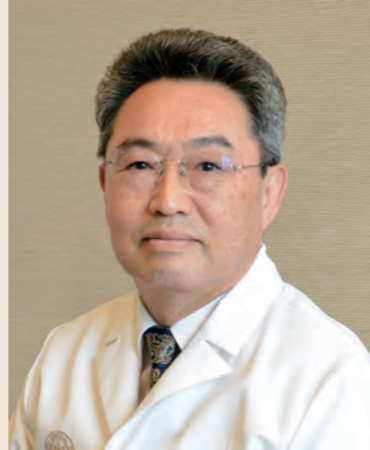
納涼と癒やしの「アクアテラリウム」(北館2階)



## 亡国に向かわないように

暑中お見舞申し上げます。

例年よりも短期間で集中的な梅雨が予想されている令和6年ですが、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。当院は、皆様方のご支援の下、一丸となってさらに質の高い急性期医療の実践を行ないながら、JCHOの使命である「地域医療・地域包括ケアの推進」に向けて貢献するように最大限の努力をして参ります。そして、このように努力できますことは、医師会、熊本大学教授陣、国・県・市行政ならびに市民の皆さま方のご支援の賜と深く感謝申し上げます。



ところで、日本国民の皆様がもう既に忘れつつある武漢発の新型コロナ感染症ですが、日本政府が新型コロナ対策として支出したお金の総額は一体いくらだったのかと私もですが皆様方も気になっていらっしゃるのではと思います。実は、あまり明らかにされませんが、3年間で何と100兆円を超えるお金を日本政府は国民のために供給するという思い切った決断をしたということが分かりました。そして、その財源は「特例国債」です。そういたしますと、その国債発行は日本国に多大な影響を与える大変なお金と感ずますが、現在の日本の経済と社会に打撃を与えているというような声は全く聞こえて参りません。

最近、MMT (Modern Monetary Theory : 現代貨幣理論)なる考えがあることを知りました。そのMMTとは、「国家が自国通貨を発行する能力を活用し、財政を積極的に運用することで経済安定と経済成長を図るといふ経済理論」だそうです。即ち、私が平たく考えるに「それぞれの国家が持っている需要範囲を満たす程度ならば、いくらでもその国家の貨幣や国債を発行供給しても良い」ということになるかと思ひます。

実際、新型コロナ対策費として100兆円以上もの支出をしたにも関わらず日本経済や社会に影響を与えていないという事実は、とりも直さずMMT理論を支持しているものと考えられます。また過去、1929年に始まったあの世界大恐慌でも高橋是清の「金本位制度からの離脱と新貨幣制度による紙幣の増発」によって世界で最も早く不況を乗り切ったと言われていますが、これもMMT理論を高橋是清が先取りしたものと考えられます。

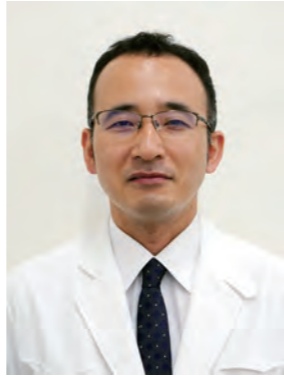
ということは、今衆目の集まる税金の35%を占めるものの100兆円に比べればたった20兆円の「消費税」などは早く撤廃して、今こそ、経済安定と経済成長を図る時ではないかと思料いたします。色々と日本のためにお骨折りされた安倍政権の最大の失策は「消費税の増税」でした。これによって、日本のGDPはドイツに抜かれて4位に転落し、一人あたりのGDPも競争力も38位に転落してしまいました。私が米国にいました30数年前は「Japan as No. 1」と意地悪を言われながらも羨望の眼差しで見られていたのに、誠に情けないことです。その上に、「ゆとり教育」の失敗にも懲りずに、国土も狭く資源も何もないのに「働き方改革」ですから、「働き方改革」の良いところは推進し問題点は直ぐにでも改変しなければ、諸悪外国の思う壺、行く先は亡国でしょう。

さておき、わたくし共の熊本総合病院は、本年度も引き続き全職員が一丸となって、「医療とともに、公に一肌脱ぎ」ながら「医療のみならずまちづくりにも貢献する」意気込みで、地方創生・人口増加・少子化阻止にも少しでも寄与できるように、さらに精進して参ります。皆様方のさらなるご支援を何卒宜しくお願い申し上げますとともに、本格的な夏に向かいまして、皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

令和6年 7月吉日

# 地域の健康を支える呼吸器内科診療を目指して

呼吸器内科部長 じょうだい 城基 孝之



現代における呼吸器内科の役割はますます重要性を増しています。呼吸器内科は、肺や気道に関連する病気や状態の診断、治療、予防を専門とする医療分野です。熊本総合病院呼吸器内科では、地域にお住まいの皆様の健康を守るため、専門的で質の高い呼吸器診療を提供することを目指しています。当院呼吸器内科が地域の皆様の健康を守るために果たすべき主要な役割について説明します。

- 慢性疾患の管理:** 呼吸器内科医は、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、喘息、間質性肺疾患などの慢性呼吸器疾患の管理において重要な役割を果たします。これらの疾患は患者の日常生活に大きな影響を与えるため、継続的な管理と治療が必要です。呼吸器内科医は、薬物療法や呼吸リハビリテーションを通じて患者の症状を軽減し、生活の質を向上させる支援を行います。
- 感染症の診断と治療:** 近年の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミックは、呼吸器内科の重要性を改めて浮き彫りにしました。呼吸器内科医は、肺炎や結核、インフルエンザなどの呼吸器感染症の診断と治療において中心的な役割を担っています。迅速な診断と適切な治療を提供することで、患者の重症化を防ぎ、医療資源の効率的な利用に貢献しています。
- 肺癌の早期発見と治療:** 肺癌は世界中で最も死亡率の高い癌の一つです。呼吸器内科医は、肺癌の早期発見と治療において重要な役割を果たします。低線量CTスキャンを用いたスクリーニングや、生検による診断、最新の治療法の提供などを通じて、患者の生存率向上を目指していきます。
- 睡眠時無呼吸症候群の治療:** 睡眠時無呼吸症候群（SAS）は、睡眠中に呼吸が一時的に停止する障害であり、日中の過度の眠気や心血管疾患のリスクを高めます。呼吸器内科医は、ポリソムノグラフィー検査を行い、持続陽圧呼吸（CPAP）療法などの治療を提供することで、患者の健康と生活の質を改善します。
- 専門的な検査と治療:** 呼吸器内科は、気管支鏡検査、肺機能検査、画像診断など、専門的な検査を実施し、詳細な診断を行います。また、適切な薬物療法や呼吸器外科と連携し手術療法を提供することなどにより、複雑な呼吸器疾患に対する包括的な治療を行います。

これからも地域の皆様の健康に貢献できるよう日々の診療に精進していく所存です。熊本総合病院呼吸器内科をよろしくお願い申し上げます。

# 呼吸器外科紹介

呼吸器外科医長 松石 健太郎



当院呼吸器センターでは呼吸器内科・呼吸器外科医師がともに日々の診療にいそしんでおります。肺癌の診療はもちろん、気胸や膿胸に対する治療、手術、また原因不明の胸水などに対しても検査、手術を施行しております。

当院呼吸器センターの体制ですが、2024年4月から熊本大学呼吸器内科より城基医師が当院に着任され、気管支鏡検査を開始しました。また、熊本大学呼吸器外科医局からも一人若手医師の派遣があり、現在当院の呼吸器外科医師は2名おります。さらに熊本大学呼吸器外科より毎週鈴木教授が来られ、外来、手術の指導を行って頂いております。

また画像診断科や放射線治療科の医師とも密に連携をとり診断、治療に励んでおります。

みなさんご存じのとおり肺癌は現在日本人の死因のトップであります。肺癌の診断はほかの癌腫に比べ診断が困難であり、症状が出たときにはすでにかなり進行していることが多い予後不良の疾患です。2020年の統計では、肺癌の5年生存率は、非小細胞肺癌が47.7%、小細胞肺癌が11.6%です。病期（ステージ）別の5年生存率は、非小細胞肺癌の場合、I期（ステージ1）が84.1%、II期（ステージ2）が54.4%、III期（ステージ3）が29.9%、IV期（ステージ4）が8.1%です。

肺癌はかなり進行するまで症状が出ないため、血痰や、長く続く咳嗽などの症状で受診された時には



最勝寺仁志 医員 松石健太郎 医長 鈴木実 教授 (熊本大学呼吸器外科)

すでに進行肺癌になっていることが多いです。少しでも気になる症状があればかかりつけの先生にご相談頂き、早めに検査されることをお勧めします。特に、胸部レントゲンでは肺癌の早期発見が極めて困難であるため、CT検査を受けていただくことをお勧めしています。もちろん当院当科にもご相談頂ければ幸いです。気兼ねなくいつでもご連絡ください。

# 外科紹介

副院長兼外科部長 堀野 敬

当科では消化器外科（お腹の外科）を中心に乳腺内分泌外科（乳腺や甲状腺の外科）、呼吸器外科（肺や縦隔の外科）なども含めた一般外科として幅広く手術を行っています。5大癌（胃癌、大腸癌、肝癌、肺癌、乳癌）をはじめとした食道癌や膵臓癌、胆道癌などの悪性疾患に対して地域がん拠点病院としての責務を果たすべく最先端の手術を含めた最良の治療を心がけ、消化管穿孔、急性虫垂炎、イレウス、胆石症、ヘルニア、肛門疾患などの急性や良性疾患に対する手術も迅速に幅広く行っています。



胃癌、大腸癌に対しては傷の小さい腹腔鏡下手術を主に行っており、最新型の手術支援ロボット（da Vinci Xi）を効率的に運用し県内屈指の手術件数を誇っています。ロボット手術の指導資格（プロクター）を持つ習熟したスタッフが常勤していますので安心安全なレベルの高い手術を受けることができます。若手外科医が競って当院での研修を望んでいる状況です。

肝臓癌や膵臓癌、高度進行癌に対しては最新の画像システムを駆使し複数科を交えたカンファレンスにて十分な協議を尽くした後に可能な限り完全切除、治癒切除を追求し積極的に拡大手術を行っています。また分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤などの最新の薬物療法、放射線療法、画像下治療（IVR）などを組み合わせた集学的治療によりこれまで切除できなかった癌に対しても完全治癒を目指しています。またバイパス手術や人工肛門増設術などの緩和手術を積極的に取り組んでおり、他職種一丸となったチームでACP（人生会議）を取り入れた緩和医療にも力を入れています。

“八代地域住民の疾患は熊本総合病院で治す！”というモットーはこれからも変わらず、全ての患者様とご家族に十分に満足頂ける地域完結型の質の高い医療を常に提供できるように日々精進していきたいと思っています。何かございましたらいつでもお気軽にご相談ください。

“八代地域住民の疾患は熊本総合病院で治す！”というモットーはこれからも変わらず、全ての患者様とご家族に十分に満足頂ける地域完結型の質の高い医療を常に提供できるように日々精進していきたいと思っています。何かございましたらいつでもお気軽にご相談ください。



ロボット手術

# 循環器病からの復活、リハビリの力

副理学療法士長 泉 輝久雄

高齢化が進み、団塊の世代が75歳を迎える昨今、脳血管疾患と心血管疾患の罹患者数が増加し続けています。令和2年の人口動態統計によると、心疾患は死亡原因の第2位、脳血管疾患は第4位であり両者を合わせると年間31万人以上の国民が亡くなっています。これらの循環器病は急激に発症し、適切な診療を早急に開始する必要があります。

当院では、脳梗塞の急性期治療、虚血性心疾患だけでなく、急性大動脈解離や大動脈瘤破裂に対しての緊急手術などの治療が行われています。リハビリにおいては、疾患により生じた移動動作や身の回り動作、コミュニケーションなどの障害に対して機能回復を促すとともに、合併症を予防し残存機能を最大限に活かすための治療が行われています。患者さんたちが元の生活に戻るために、多職種一丸となって取り組んでいます。発症早期に濃厚なリハビリテーションを行うことが非常に重要であることがわかってきましたので、当院では本年度新たにリハビリ療法士を9名採用しました。

令和2年には循環器病対策推進基本計画が策定されました。心不全などで入退院を繰り返す患者さんが年々増加しており、運動療法だけでなく心臓疾患や生活習慣の教育、心理面のサポートなど、再発予防・予後改善を目指す心臓リハビリテーションにも力を入れています。また、心不全で入院し退院した後も、外来での心臓リハビリテーションを続けることが推奨されており、当院では、退院後も安心して



家庭生活が行えるように、外来での心臓リハビリテーションの提供へも努めております。特に八代地域は心臓リハビリテーションを提供している施設が少ないため、その中で中心的な役割を担っていきます。その一環として、熊本県心臓リハビリテーション支援事業へも参加し、県内全域の患者さんが心臓リハビリを受けやすい環境づくりにも貢献して参ります。

## こんにちは赤ちゃん

ご出産おめでとうございます

当院産科では十分な受け入れ体制が整い、多くの赤ちゃんが誕生しております。

ご家族と共に喜びを分かち合い、赤ちゃんたちの健やかな成長を見守ることができることを、心から嬉しく思います。職員一同、これからも全力でサポートしてまいります。



## 内視鏡センターだより



北館への移転に伴い、広く快適な空間になりました。  
月曜から金曜まで胃・大腸内視鏡検査、ERCP検査、気管支内視鏡検査を行っています。

がん検診スクリーニング検査、早期癌の内視鏡検査も行っており、年々症例数も増加しています。

また、消化管出血や総胆管結石などの腹部の救急疾患に対する緊急内視鏡検査にも迅速に対応し、休日も24時間体制で臨んでいます。

今後も更に多くの内視鏡検査を受け入れ、安心安全な診断・治療を行うよう努めていきます。

## 健康管理センターだより

がん死亡率は、肺がんがトップです。  
ヘリカルCTによる肺がん検診のおすすめ  
家族のため、大切な人のために早期発見を！

【料金】肺CT：9,900円 肺専門：22,000円

検査 コース	ヘリカル CT	喀痰 細胞診	腫瘍マーカー	
			シフラ	ProGRP
肺CT	○			
肺専門	○	○	○	○

胸部X線では映らず、CTで見つかった肺がん



## こんな方に特におすすめします

- ・年齢が50歳以上
- ・血縁者にがんの人がいる
- ・アスベストの吸引歴がある
- ・咳・痰(血痰)がでる
- ・深呼吸をすると胸が痛い

# 駐車場のご利用について

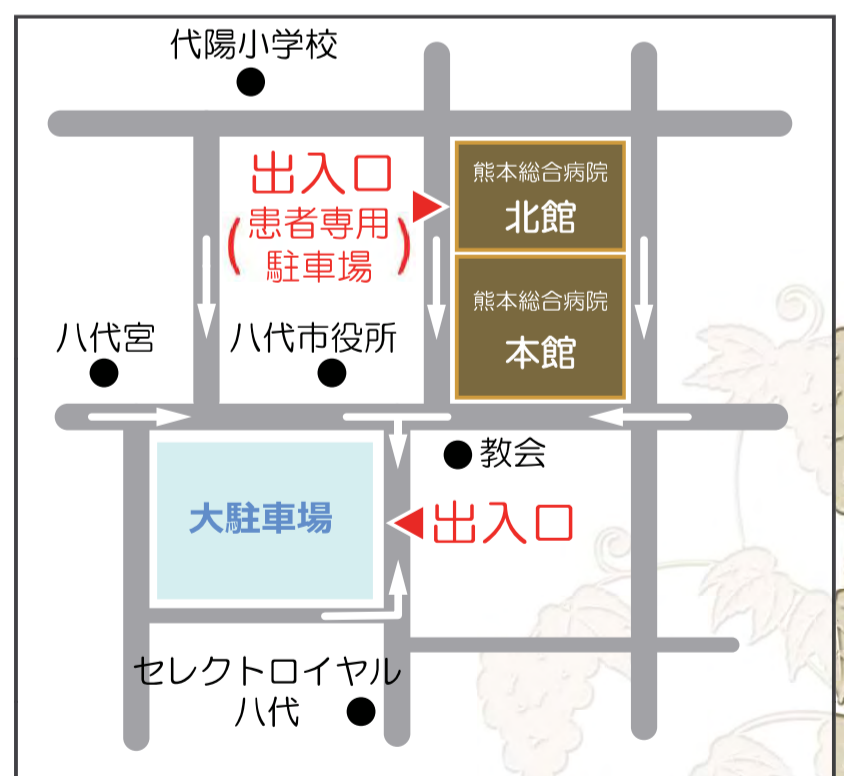
## 患者専用駐車場

熊本総合病院北館1階に**患者専用駐車場**をご用意しております。屋内の駐車場ですので天候に左右されずご利用いただけます。**無料**ですが、**認証が必要**です。

## 大駐車場

基本的に**無料**ですが、平日は**当院による認証が必要**となっております。**土日祝日は市街地活性化のために認証不要**です。

**22時以降の駐車はできません。**(以降は高額の駐車料となります)



**JCHO 熊本総合病院**

〒866-8660 熊本県八代市通町10番10号

電話 0965-32-7111(代表)

FAX 0965-32-2772

URL <https://kumamoto.jcho.go.jp/>

発行日：令和6年7月20日

発行責任者：病院長 島田信也